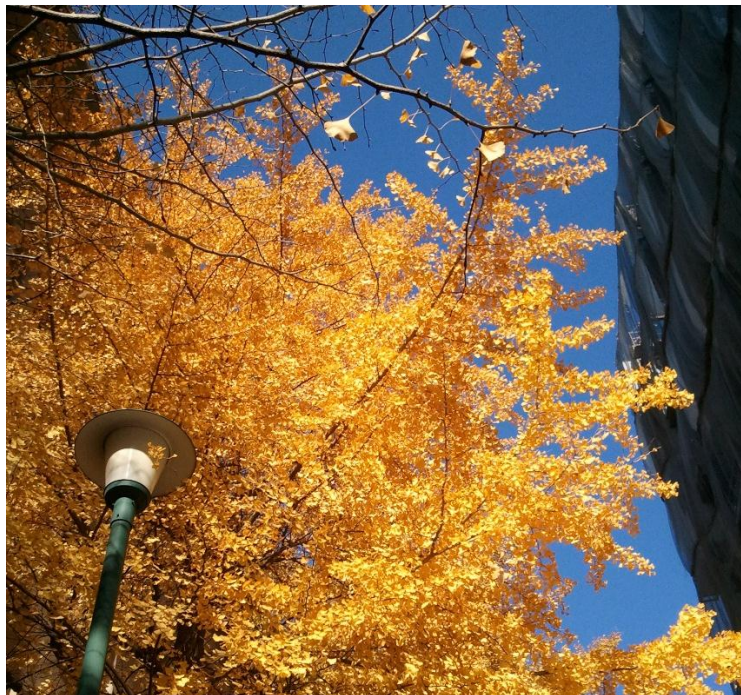


2022年12月

流通品種データベースについて

1. 季節の写真：イチョウ



東京都内でもイチョウが黄葉する季節になりました。

イチョウは、一科一種をなすイチョウ科の落葉高木で、街路樹などとして広く利用されます。奇形的に葉の縁に種子をつけるオハツキイチョウ、葉に白色や黄色の斑が入るフイリイチョウ、葉がラップ形になるラップイチョウなどの品種があります。

2. 流通品種データベースについて

本年（令和4年）の3月14日から、流通品種データベースの運用が開始されています。

種苗法に基づく登録品種の種苗を、インターネット上で違法に販売しているという問題がしばしば見られるように、種苗法や品種登録というのは、一般人にとっても、実は身近な知的財産であったりします。

しかし、種苗法に基づく登録品種名称と、その品種の流通名とが異なることは多く

あり（有名な例ですと、いちごの「あまおう」の登録品種名称は「福岡S6号」、等）、流通品種が、種苗法に基づく登録品種か否かが結構わかりにくかったりする実情があります。

流通品種データベースは、種苗法に基づく登録品種名称と、その品種の流通名とを紐付してくれるデータベースで、流通名での検索によって、その品種が種苗法に基づく登録品種か否かが立ちどころに分かる優れたものです。

流通品種データベースの運用開始は、今般行われた種苗法の改正と共に、種苗法に基づく登録品種の知的財産としての価値を大きく向上させることになるでしょう。

以 上